

## 令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立中川東小学校 校長 豊田純子

## 1 学校教育目標

やる気いっぱい やさしさいっぱい やりとりいっぱい 中川東小

- やさしい子
- かしこい子
- たくましい子

## 2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- 児童の読書に対する興味・関心を喚起し、読書を通して豊かな心や創造力等を育む。
- 様々な読書活動を通して本の楽しさにふれさせ、「本にすぐ手を伸ばす子」を育てる。
- 様々な情報から必要な情報を選び課題解決につなげる情報活用能力を育成する。
- 学校図書館の環境を整え、児童が落ち着いて読書を行うことができる学びの場を提供する。

## 3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 9,511 冊（蔵書基準冊数 7,960 冊）／蔵書率 119.5%									
	② 新規購入図書 332 冊／廃棄図書 108 冊／増減冊数 224 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.6%	1.3%	7.3%	6.7%	12.9%	5.6%	2.4%	7.7%	2.2%	52.3%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：9:00～15:45（前年度からの変更 あり・ <u>なし</u> ）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 34.9 冊（前年度末：30.2 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 75.7%（前年度末：64.3%）									
（令和5年度末）										
蔵書状況	① 蔵書数 9,370 冊（蔵書基準冊数 7,960 冊）／蔵書率 115.9%									
	新規購入図書 508 冊／廃棄図書 641 冊／増減冊数-133 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.6%	1.3%	6.9%	6.6%	12.4%	5.6%	3.0%	7.9%	2.4%	52.3%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	② 開館時間：9:00～15:45（前年度からの変更 あり・ <u>なし</u> ）									
	③ 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 39.7 冊（前年度末：34.9 冊）									
	④ 1か月に2冊以上読む児童 74.3%（前年度末：75.7%）									

## 4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	○親しみやすい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ○学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。	
今年度の成果目標	達成基準	
①学校図書館を利用して、読書する楽しさを体験することができる。	①すべての学級が学校図書館オリエンテーションを実施する。	
②学校図書館を使う授業により、様々な本があることを知ることができる。	②年間を通して一人あたり50冊以上の本を読む。	
③学校図書館の利用の仕方について知ることができる。	③学校図書館を使った読書や探究活動の授業を各学級月1回以上行う。	
目標達成状況		
①オリエンテーションを確実に実施することで、学校図書館支援員から利用の方法を学ぶことができた。		
②学校図書館で毎週2冊の貸し出しを行い、100%の児童が年間50冊以上の本を読むことができた。		
③各学級週1回以上学校図書館を利用し、様々な本にふれて楽しんだ。それを本バックの中に入れて机の脇に常時かけさせたことで、すき間時間に自然と本に手が伸びる児童が増えた。		

<b>第2学年</b>	○いろいろな読み物に興味をもち、すすんで読書しようとする意欲を育てる。 ○学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
①自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ②図鑑や科学的な読み物を読み、分かったことなどを友達に説明することができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	①様々なジャンルの本を読む。 ②年間を通して一人あたり 60 冊以上の本を読む。 ③学校図書館を使った読書や探究活動の授業を各学級月 1 回以上行う。
<b>目標達成状況</b>	
① 国語の単元に合わせて関連する図書を読ませることで概ね達成することができた。 ② 9 割以上の児童が年間 60 冊以上を達成できた。 ③ 週 1 回の図書館を利用した授業に加え、図書を使った調べる学習にも取り組んだ。	
<b>第3学年</b>	○いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ○きまりを守って学校図書館を利用しようとする態度を養い、資料や情報を集めて活用できるようにする。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
①自分の興味のある本だけではなく、それに関連する本についても読書することができる。 ②事典や図鑑等から分かったことなどをまとめることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	①年間を通して一人あたり 2,000 ページ以上の本を読む。 ②児童の 70%以上が調べる学習コンクールに参加する。 ③学校図書館を使った読書や探究活動の授業を各学級月 1 回以上行う。
<b>目標達成状況</b>	
② 目標を達成した児童は 20 人 (40%) ③ 学年全員が、調べる学習コンクールに参加した。 ④ 各学級月 2 回以上学校図書館を利用し、図書館支援員の読み聞かせを聞くことでいろいろな読み物を知り読書の幅を広げた。また、おすすめ図書を紹介する学習も行った。	
<b>第4学年</b>	○いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ○きまりを守り、すすんで学校図書館を利用しようとする態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用できるようにする。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
①自分の興味のある本だけではなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ②事典や図鑑等から分かったことなどをまとめ、説明することができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	①年間を通して一人あたり 2,000 ページ以上の本を読む。 ②児童の 80%以上が調べる学習コンクールに参加する。 ③学校図書館を使った読書や探究活動の授業を各学級月 1 回以上行う
<b>目標達成状況</b>	
① 学校図書館で毎週 2 冊の貸し出しを行い、90%以上の児童が年間 2000 ページ以上の本を読むことができた。週 1 時間の図書の時間には、学校図書館でじっくりと本を選んだり、読んだりする時間を設定したことで、様々な本にふれる機会が増え、読書を楽しむ姿が多くみられた。また、借りた本を本バックの中に入れて机の脇に常時かけさせたことで、すき間時間に自然と本に手が伸びる児童が増えた。 ② 本にふれる機会を意図的に設定したことで、自主学習ノートや調べる学習コンクールに意欲的に取り組んでいた。調べる学習コンクールは 100%の参加であった。 ③ 学校図書館を週 1 回以上は使って、読書をしたり、探求活動を行ったりしたことで、多様な資料や情報を収集・活用する力が身についてきた。	

<b>第5学年</b>	○日常的に読書に親しみ、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ○すすんで学校図書館を利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用できるようにする。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
①興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ②複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりすることができる。 ③学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	①年間を通して一人あたり 3,000 ページ以上の本を読む。 ②児童の 90%以上が調べる学習コンクールに参加する。 ③学校図書館を使った読書や探究活動の授業を各学級月 2 回以上行う。

目標達成状況
① 授業や隙間時間での読書を促したものの、3,000 ページ以上読むことのできた児童は 43%に留まってしまった。学年平均で見ると 3000 ページとなり、3000 ページに一步届かなかった児童や読むことに時間のかかる児童がいる。 ② 97%の児童が調べる学習コンクールに参加し、それぞれ興味のあることについて調べることができた。 ③ 各教科での調べ学習や図書の時間を確保したことで、月 2 回学校図書館を活用できた。

<b>第6学年</b>	○日常的に読書に親しみ、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ○すすんで学校図書館を利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用できるようにする。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
①興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ②複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告することができる。 ③学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	①年間を通して一人あたり 3,000 ページ以上の本を読む。 ②児童の 95%が調べる学習コンクールに参加する。 ③学校図書館を使った読書や探究活動の授業を各学級月 2 回以上行う。

目標達成状況
① 教科の学習と関連付けて読書に取り組ませた結果、読書をするものの有用感を児童自身が実感していた。 ② 学年児童の 100%が、本を活用した調べる学習コンクールに参加した。 ③ 学校図書館支援員から図書館利用の仕方について学んだことで、自分の目的に合った本を適切に選べるようになり、すすんで読書したり調べ学習をしたりする児童が増えた。

## 5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
<b>【蔵書・配架等に関すること】</b> ○区の示す基準に沿った図書館資料の廃棄・更新を行う。 ○知的好奇心を醸成する開かれた学びの場としての環境を整える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館資料の廃棄は重点的に行った。更新については基準に沿いながらも本校の実態や担任の希望などを考慮しながら行った。</li> <li>・本を選びやすいように展示を工夫したり学年のランキングやおすすめチャート図を掲示したりして、本に親しむ環境を整えた。</li> </ul>
<b>【学校図書館支援員との連携・協働】</b> ○学校図書館支援員や図書ボランティアとの連携を一層深め、充実した学校図書館経営を展開する。 ○学校図書館オリエンテーションやブックトークの実施等、学校図書館支援員の強みを最大限に引き出す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新着本の整理やラベルの変更作業、廃棄図書等の支援について連携を図りながら行った。</li> <li>・年度当初のオリエンテーションは全学年に実施した。ブックトークや調べ学習の支援を行い、調べ学習の入賞者が増えた。作家の追悼コーナーや災害や平和に関する展示を工夫する等、児童の心に届く取り組みをした。</li> </ul>

### 【その他】

- 図書ボランティアによる読み聞かせを月1回行う。
- 児童の委員会活動とも連動し、学校図書館の存在意義を広める。

- ・図書ボランティアによる月一回の読み聞かせは計画的に全学年に実施できた。学年に応じた本を選んだり季節や行事に関連させた内容を工夫したりしていた。
- ・図書委員会の活動としてポップやポスター作り、朝会での本の紹介等を通して存在意義を広めた。

## 6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

- ・月一回の業務計画会議に出席し、取り組みの計画や反省をしたり学校側の提案をしたり等、図書支援員と連携を図りながら運営することができた。
- ・固定時間割の中での利用に留まる傾向があり、休み時間の児童の利用を増やすことが課題である。そのための一つとして、図書委員会の活動の工夫が必要だと考える。
- ・図書支援員がいて下さると、児童や先生方の要望にも素早く対応ができる。やはり常駐していただくことが学校図書館の充実につながると考える。

## 7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

- ・定期的に蔵書の入れ替えがあり、児童が興味をもって本に接することができていたり、児童が調べ学習に関心をもって取り組むことができたりしている。
- ・季節や行事に関連した本を手に取りやすくなるよう、本の配置、ポスターや掲示の工夫がされていて本に親しみやすい環境づくりができています。
- ・今後も活字に触れやすくなるような環境整備を続けてもらい、児童の読書量が増えるようなわくわくする図書館づくりをお願いしたい。